

開成の杜

第111号 ●2019年12月20日 ●郡山女子大学大学院 ●郡山女子大学 ●郡山女子大学短期大学部 ●郡山女子大学附属高等学校 ●郡山女子大学附属幼稚園

●発行所／学校法人郡山開成学園 〒963-8503 郡山市開成3丁目25番2号 ☎ 024(932)4848(代) http://www.koriyama-kgc.ac.jp ●発行人／学園長 関口 修



天候にも恵まれ、収穫の喜びを体験

(撮影 山口郁生)

令和元年は残り少なくなってきたが、今年も自然災害の猛威から逃れることが出来ませんでした。それ故、恒例の『もみじ会』が開催出来なかったことはとても残念なことでした。

学生・生徒・園児の皆さんがあれこれ工夫を凝らし、研究を重ねて発表しようとしていたもみじ会でしたから、とても落胆した事と思いますが、その反面、科学は自然災害に立向かう手段がないことをも学んだと思います。

地球の温暖化による気候変動は地球規模で議論が続けられていることを、日々の暮しからも感じていることでしょう。

この学園も昔は、台風や突然の豪雨で校舎が水浸しになった経験があるので、当時は安積疏水等の水脈が張り巡らされたり、道路等の舗装が進んだり、毎年増加する雨水量を防ぐ苦勞がありました。

此度の台風19号は未曾有の大被害をもたらしました。この災害は河川の氾濫により学生・生徒や教職員も大変な被害を受けました。

過去の被害経験と比較すれば大規模な災害でしたが、是までの経験を基に類推すれば、被害を最小限に止める知恵があったと考えられます。



理事長・学園長 関口 修

経験こそ知恵の泉

振り返りになります。学園は過去に被った災害を後世に役立てるべく、多様な検討を重ね、学生・生徒・園児が安全に学べる施設・設備を整えてきました。それは経験を活かす考えに他なりません。

東日本大震災の発生時は既に耐震改修工事が概ね完了していましたが、未曾有の災害に遭遇しても、独自の暖房・水道・電気が整った避難場所として地域社会の皆さんに提供することが出来ました。

『備えあれば憂いなし』と言う言葉がありますが、人間の知恵では過去の教訓を政策に生かす行政が不可欠なのです。『災い転じて福となす』と云う言葉は先人の知恵なのです。

自然災害の経験を教訓にする行政があれば被害を最小限に防げた事でしょう。

我が国をめぐる自然災害は枚挙に遑ありません。特に、福島県に居住する人々は、人災にも苦勞しているのです。

本学の学生会や生徒会は助け合いこそ生活の本質であり、共助の重要性を認識し、被災した学生・生徒ご家庭の復旧に尽力しました。さらに、募金活動を積極的に行った行為は学園の誇りとすると考えています。

開成学園が希求する安全と安心は日常生活での経験を弛みなく改善することにあります。

あらゆる事象に関わり素直に反省する感性は知恵ある人間の人間たる所以です。反省と改善は一連の思考形態ではないでしょうか。

建物の復元と陣屋の記録

郡山女子大学人間生活学科建築デザインコース講師 長田 城治

建物が当初はどのような形での利用されたのか。建物の復元考察は、捜査や推理と同様であるという人がいる。犯人の手掛かりは柱や梁に刻まれた痕跡であり、捜査資料は絵図や古文書である。動機は建物というなら時代に合わせた生活や用途変更による改造などといえるだろう。形の背景には理由があると学生時代に指導を受けた。その理由を客観的な証拠に基づいて論理的に示すことが歴史を扱う上で重要である。今回、富岡町から多胡藩陣屋の図

面作成と価値の把握に伴う復元考察の依頼を受けた。陣屋は、江戸時代の村役場の建物で、現存事例はごく僅かしかないが、多胡藩陣屋は震災の影響などから解体されることになった。多胡藩は、千葉県香取郡に本拠地を構えたが、幕末に福島県富岡町などの一部が飛び地となった。その理由は、罪人を逃がしたことによるものであったため、富岡の地に陣屋を新築できず、庄屋の建物を転用したという。陣屋には今ではみられない座敷牢があったとされ、当時の様相が窺



現在は住居となっている多胡藩陣屋の様子

える。しかしこの陣屋は、移築して現在の所有者の住居となった。用途変更や移築を経た陣屋の復元考察は一筋縄ではいかない。時代の異なる幾重もの痕跡は、解体という時効が迫っている中、私や学生たちの頭を悩ませている。今後も調査を続けていきたい。

卒業研究発表会が始まる

大学人間生活学科 福祉コースの第31回卒業研究発表会と建築デザインコース・生活総合コースの中間発表会が11月24日に、大学食物学科の代51回卒業研究発表会が11月29日にそれぞれ行われた。発表者と研究題名は次の通り。

【人間生活学科 福祉コース】

▽介護職員の認知症ケアに対するストレスの現状―認知症ケアマニュアルの検討― 佐藤香代子

▽発達障害者が活躍しやすい社会の要因―発達障害のある大学生支援の検討― 村山美佳

▽「孤立」する人々―「無縁社会」からつながりのある社会を考える― 木村美結

▽障がい者の自立生活運動―福島県における自立支援運動から―矢吹あゆみ

▽「百寿者」の生き方から学ぶ―「健康長寿」に向けた取り組みの提案― 関川眞子

▽生活の質の向上の一要因としての化粧の効果 中野彩音

▽子どもの貧困に関する女子大学生の意識と理解 梶原菜摘

【人間生活学科 建築デザインコース】

▽訪問看護・介護等における住宅改修に関する調査研究 池上華梨

▽福島県における人身雪害の状況と気象背景に関する研究 齋藤弥希

▽会津若松市の観光動員数の現状と課題に関する考察 二瓶紗妃

▽プロジェクトマネジメントの現状と住宅への利用に関する可能性について 村上実賀子

▽近年の住宅における「台所空間」に関する研究 宗形友香

▽常盤炭田における社宅街の計画実態と特徴 遠藤凜葉

▽旧西村写真館の建築的特徴と地域文化的価値 桑名祐希

▽近代洋館における暖炉・マンデルピースの設置傾向とその役割 永澤知歩

【人間生活学科 生活総合コース】

▽皮膚の健康と生活に関する研究 加賀谷真未

▽健康な頭髪に関する研究 瀬谷菜奈実

▽食生活における色彩の食欲に及ぼす研究 原田佳寿美

▽福島県の運動促進と地域活性化へのアプローチ―県内のプロスポーツチームを通して― 荒井真愛

▽衣服におけるロゴマークの役割と効果について 小林美美乃

▽ファッション業界の現状について 吉田愛美

▽ぬいぐるみの癒し効果―ટેイベアを中心に― 齋藤礼実

▽アクティブラーニングと「主体的・対話的で深い学び」の関係についての一考察―自己内対話と林竹二の「問の追求」に注目して― 酒井 梢

【大学 食物栄養学科】

▽市販発酵食品の細菌増殖に対する影響 尾形朱莉／小林梨紗／佐々木麻衣

▽若者の意識におけるカフェまたは喫茶店の重要性―サードプレイスの構築に向けて― 大内春佳

▽睡眠と生活の変化について 小出和穂

▽妊娠期の食生活の変化について 郡司 茜／高久愛海

就職部より

今年度の就職内定は昨年度より早いペースで進み、就職率が高くなっている。大学、短大で90%を超えている好調な科や、9月頃から就職活動が本格化した幼児教育学科の就職活動も順調で就職内定が早い。学科により、景気の動向が採用活動に影響し、量よりも質重視の企業の動きもあった。

今年度は11月20日に郡山商工会議所と協力して一般企業希望者向けに「企業合同説明会 in キャンパス」を実施した。不透明感があり、採用に慎重な企業も増えているので一般企業希望者は意識を高めて、早期に

企業研究や就職活動に取り組んでほしい。

現在、大学3年生、短大1年生の全員の個別面談を実施している。将来の目標設定が出来ている学生もいるが、不安を抱えている学生も多い。今、何を学び、どんな働き方をしたいのかという視点を持ち、どんな役割を社会で実現したいのかを考えることが大切だ。これからの働き方、生き方を考え、自分が何をしている時が一番輝いているのかを見つけ、就職活動のきっかけにして仲間と語ってほしい。また、自己を認知し、丁寧な言葉で人に伝え説明ができるように、人の心の機微に触れる伝わる力(いい姿勢・笑顔・目線・会話術等)を磨いてほしい。



「企業合同説明会 in キャンパス」の様子

11月2日に終了したワールドカップラグビー選手の積み重ねたことを信じ、必死に取り組み、100%遂行できる姿勢に学びたい。

動報告

面川梨紗／前田真子／三国春菜

▽男性勤労者の社員食堂における減塩メニューの満足度と減塩及び健康に対する意識との関連 遠藤 梓／高橋寿美

▽骨密度と生活習慣の関連性 藤田由里／菱沼咲良／榎谷優希／沼田昌代

▽食生活の傾向と疾病との関連 高橋麻美／田中美咲／西間木穂乃花

▽ホームヘルパーが担う在宅要介護者の調理、特に嚥下困難食に関する実態調査 鹿又 彩／岩谷朱音

▽病院における糖尿病患者の食事療法及び栄養食事指導手法についての調査 佐藤華恋／中田瑠奈／渡邊有美

▽郡山市の子どもたちの食生活に関する実態調査(6) 渡辺静紅

▽ノンオイルドレッシングの調理科学的側面からの開発 志田千穂／草野陽／村上明日香

▽低温蒸気加熱加工法を活用したキムチ風味調味野菜の開発 杉内杏奈／善方千帆

▽一般家庭で食されている汁物のN

a/K比とその改善案について

熊谷湖乃巴／熊谷沙久耶

▽子ども食堂における運営者側の衛生管理と栄養管理の実態 小林真美／矢吹りほ

▽子供の頃の食育活動と現在の食生活や食に関する主観的QOLとの関連性 大島潤華／庄子絵莉菜

▽学校給食の味噌汁における減塩の試み 庄司香／大場未来／鈴木美友

▽外来試食教室における生活習慣の改善とその有効性評価の試み 石坂愛矢／和泉朱音／佐藤美歌

▽スクワットによる体格指標の変化 大島ひな子／大橋 咲／倉澤美歩

▽高齢者を対象とした誤嚥に関する行動観察および咀嚼物の特性に関する研究 石月佳澄

▽インスタントだしと天然だしのうま味の認知に関する研究 磯部里菜

▽天然だし中のうま味関連揮発性物質の分析 土屋沙織

▽小腸内容物の粘度と自由水のどちらかが小腸内容物中のグルコース拡散に影響を与えるか 坂本樹音

春高バレー 4年連続21回出場

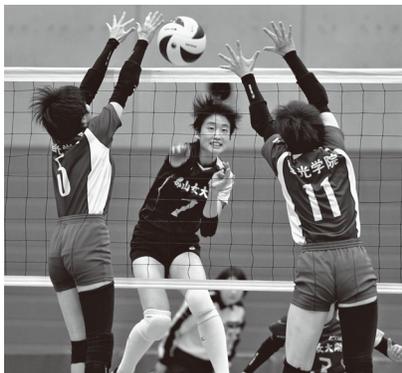
第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会(兼第47回FIV杯争奪福島県高等学校バレーボール選抜優勝大会)が11月20日、福島市の福島トヨタクラウンアリーナ(福島国体記念体育館)で開かれ、附属高校バレーボール部は聖光学院の粘りに苦戦したが、朝倉、本田両エースの多彩な攻撃で3・0で完勝。1月5日から東京都府中市武蔵野の森総合スポーツプラザで開かれる全国大会に出場する。1回戦の相手は、佐賀県代表鳥栖商業高等学校に決定した。

▽準々決勝
郡山女子大附属2・0磐城第一

▽準決勝
郡山女子大附属3・0聖光学院



部員27名全員で勝ち取った春高バレー全国大会



スーパーエース! 1年 本田 凜

メンバー表
監督 佐藤 浩明
コーチ 佐々木 淑子
マネージャー 尾坪 大輔

名前	学年	名前	学年
朝倉 未来	3年	本田 凜	1年
鯉淵 千夏	3年	若松 香凛	1年
有明愛 祐佳	3年	佐藤 のあ	1年
佐藤 愛海	3年	小林 ここあ	1年
吉田 里乃	3年	三瓶 心	1年
大塚 萌華	3年	菅野 好美	1年
加藤 百華	3年	平澤 琉楓	1年
山田 あずさ	3年		
伊野 佑香	3年		
原 花穂	2年		
青島 美空	2年		
木田 遥香	2年		
柏原 凧沙	2年		
佐藤 しいな	2年		
柳沼 葉奈	2年		
石井 さくら	2年		
佐藤 朝美	2年		
今野 世実	2年		
本田 恋桜	2年		
郡司 咲梨	2年		

県高校新人剣道大会 団体2位 東北大会出場!

▽団体 2位
剣道部は、来年2月に山形市で開催される東北選抜大会に出場する。



目標を新たに頑張る新チーム

メンバー表

名前	学年
大将 滝田 優菜	2年
副将 酒井 月渚	1年
中堅 三留 綾華	1年
次鋒 石原 菜々恵	1年
先鋒 帰山 晴南	2年
補員 黒岩 堂那奈	1年
補員 新田 百合子	1年

マーチングバンド部 全国大会へ

第48回マーチングバンド・バトントワリング東北大会で、附属高校マーチングバンド部は高校の部で金賞を獲得。全国大会出場を決めた。全国大会は12月14日・15日、さいたまスーパーアリーナで行われた。



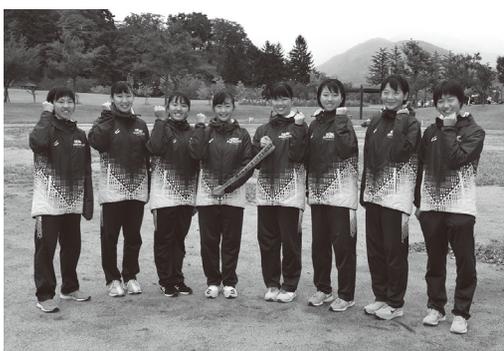
東北大会で息の合った演奏演技

新役員決まる

- 【大学学友会】 令和2年度 新役員
- 会長 三瓶花夏(食物・1年)
 - 副会長 長瀬 怜奈(食物・1年)
 - 副会長 高徳 奈歩(人生・1年)
 - 総務部長 名城 英里(人生・1年)
 - 書記 安達 瑠渚(人生・1年)
 - 書記 橋本 優花(人生・1年)
 - 書記 石井 玲名(人生・1年)
 - 書記 山口 莉奈(人生・1年)
 - 庶務 齋藤 千聖(食物・1年)
 - 体育部長 吉村 美紀(人生・1年)
 - 文化部長 面川 沙羅(食物・1年)
 - 厚生部長 田中 有里(食物・1年)
- 【短期大学部学友会】
- 令和元年度 後期 新役員
 - 会長 小針 綺光(幼教・1年)
 - 副会長 有賀 瑠乃(幼教・1年)

陸上競技部 県駅伝大会 来年の活躍に期待

「都大路」への出場権がかかる第37回県高校女子駅伝競走大会が10月24日、猪苗代総合体育館をスタート・フィニッシュで行われた。



8名全員の心を1つに目標達成

マーチングバンド部 メンバー表

影山 采香 3年	佐々木 百花 3年	佐藤 菜摘 2年	川名 礼華 1年	澤田 百佳 1年
影山 園果 3年	佐藤 沙希 3年	永井 千聖 2年	齋藤 優衣 1年	井村 萌莉 1年
上遠野 梅花 3年	石井 百花 2年	水野 琴香 2年	夏井 杏南 1年	佐々木 莉穂 1年
岸 琴海 3年	小向 いぶき 2年	柳沼 胡春 2年	林部 悠花 1年	橋本 ひかり 1年
佐藤 温花 3年	菅野 美桜 2年	菅野 未空 2年	水野 琴実 1年	渡邊 沙香 1年
大和田 綾乃 3年	深澤 玲菜 2年	赤沼 琴音 2年	横溝 奈穂 1年	
菊地 萌々子 3年	西澤 あかり 2年	五十嵐 美月 2年	渡部 葵 1年	
齋藤 希海 3年	小沼 姫 2年	西條 美咲 2年	大塚 愛華 1年	
遠藤 菜央 3年	渡辺 真生 2年	本多 琴葉 2年	小檜山 美波 1年	

県高校新人大会 新体操

郡山女子大学附属高校新体操部は、団体で18回目の優勝を果たし、東北大会に出場した。個人においても1年渡邊美理彩が第2位で東北大会出場を決めた。

- ▽団体メンバー 長谷川愛乃/鈴木玲奈/渡邊美理彩/大橋 萌/萩原 萌 (全員1年生)
- 2位 渡邊美理彩(東北大会出場)
 - 5位 大橋 萌
 - 6位 長谷川愛乃
 - 7位 萩原 萌
 - 12位 鈴木 玲奈

東北高校新体操選抜大会

東北高校選抜大会において、団体入賞を果たしたのは3年ぶり7回目である。個人・団体共に次年度は優勝を果たして全国選抜を目指したい。

- ▽団体 3位 入賞
- ▽個人総合 12位 渡邊美理彩



先輩から受け継いだ団体演技に心を込めて

学びの旅 附属高等学校修学旅行 ハワイへの旅

附属高校第2学年生は、11月26日から30日まで、ハワイオアフ島を中心とした修学旅行を行った。

ビショップ博物館を訪ねて

2年1組 細川 結衣

私たちは修学旅行でハワイ州オアフ島へ行ってきました。現地時間の26日に、ビショップ博物館へ見学と体験をしに行きました。

ビショップ博物館は、1889年に設置された、ハワイで最大の博物館です。ポリネシアの文化に関連したコレクションが数多く展示されていて、昆虫の標本が多く、その数は1350万にも上る、カメハメハ大王家ともつながりの深い場所です。

そのような歴史ある博物館では、ウクレレ、ハワイ語、フラダンスの体験をしました。私はハワイ語を選択し、挨拶や地名の意味を教わりました。友人の話聞いて、体験できなかったフラダンスとウクレレも体験したいと思いました。博物館内の見学では王家にまつわるドレスや旗、武器を見て、ハワイの歴史の深さや文化の尊さを学ぶことができました。高校生のうちにこの貴重な体験ができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。



フラダンスを体験

パールハーバーで感じたこと

2年2組 及川 玲奈

今回、修学旅行でパールハーバーを訪れることができ、私にとっては歴史を学ぶよい機会になりました。パール

ハーバーで印象に残ったことは、想像を超える大きさの戦艦ミズーリです。その中には多くの物語が詰め込まれていました。右舷艦尾付近には日本の神風特攻機が衝突した跡があり、その後どうなったかを想像すると、言葉にあらわすことができないくらい心が苦しくなりました。また、1945年9月2日に東京湾内に停泊していた戦艦ミズーリのデッキで行われた降伏文書調印式会場も見学しました。連合軍代表の方と、日本政府の外務大臣や参謀総長などがサインした文書も展示されていて、自分が立っているところで戦争の終結がされたというのをしっかりと伝えていました。

私自身、戦争の映像を見たり、実際の話を聞いたりすることを恐れて、背を向けてしまっていました。しかし、パールハーバーからの事実としっかりと向き合うことができ、もう二度と戦争を起こしてはいけないと改めて考えさせられました。



戦艦ミズーリの前で

日系移民の生き方にふれて

2年3組 今野 世実

私たちはハワイ日本文化センターで、日本からハワイへ移住した人々について学びました。そこでは、彼らが過酷な労働条件の中、お互いに励まし合

て働いていたこと、彼らの子孫がいかにハワイの発展に貢献したか、そして辛く苦しい思いをした第二次世界大戦中のことについての展示がありました。特に、戦時中の日系人が自分たちの存在を示すためにアメリカに忠誠を誓って日本と戦ったという話を聞いて大きな衝撃を受けました。日系人だということ、日本と内通しているのではないかと疑いをかけられ、家族や友人が強制収容される中、彼らは戦うことで自分たちがアメリカのために命を懸けていることを証明しました。そして今でも多くの日系人の方が活躍しています。

孝行、恩、我慢、頑張り、仕方がない、感謝、忠義、責任、恥、誇り、名譽、義理、犠牲。これらは日系一世の方々が大切にしていた言葉です。慣れない土地でこつこつと信頼関係を築いていった彼らの生き方を支えたこれらの言葉を、私たちはあらためて見つめ直し、彼らの心を見習わなければならないと思いました。



ハワイ日本文化センターにて

ハワイ大学マノア校「アートギャラリー」を見学して

2年音美組 水野 琴香

今回私たち第2学年は、ハワイ州最大の州立大学であるハワイ大学マノア校に訪問させていただきました。ハワイ大学マノア校は1907年に



ハワイ大学マノア校キャンパス

創立された歴史と伝統ある学校です。学生数は約20,500人で留学生も多く、日本人留学生は約100人が学んでいます。

私たちのグループはその中で美術・美術史学部に関するギャラリー、「アートギャラリー」を見学しました。ギャラリー内には竹藪が多くみられ、日本を感じさせる雰囲気があります。私たちは、プロの芸術家の展覧会、国際巡回展覧会、教職員や学生の作品などを鑑賞しました。日々芸術に没頭する方々の作品は、どの作品も個性が豊かで、芸術性にあふれていました。

その他にも、和を感じさせる施設が多くありました。石の祠や、お寺に見立てた建造物があったり、池には鯉が泳いでいたり、あらゆる場面で日本の風情が感じられました。東洋と西洋の文化が融合したこの大学は、とてもユニークで国際色豊かに感じました。

私はハワイ大学マノア校の見学を通して、現地の学生のように、一つひとつのことに對して職人のように懸命に取り組めるようになりたいと思いました。私は音楽科に所属していて、あらゆる国の曲の雰囲気を取り入れることを目指しています。ハワイ大学マノア校は日本をはじめとするあらゆる国の文化を取り入れることで、芸術性を高めています。

ダイヤモンドヘッドの思い出

2年食組 神谷 華澄

私のハワイでの一番の楽しい思い出の場所は、3日目に行ったダイヤモンドヘッドです。海岸線にそびえ立つダイヤモンドヘッドはワイキキのどこからでも見える大きな山です。山頂までは片道40分のハイキングと聞いていたのでみんなと楽しく登ることができると考えていました。しかし、登り始めてみると少しづつ道幅が狭くなり、傾斜も急になってきて、とても景色を楽しめる余裕などはなくなり、もう体力の限界だと感じ始めてきたときに目の前に現れたのは洞窟のような暗いトンネルでした。まるで冒険しているような山道を抜けることができました。そこには360度の大パノラマが広がっていました。青い空と青い海、近代的なビルとビーチが一望でき、その景色は想像以上のものでした。途中でリタイヤしようと思っても考えましたが、なんとか登り切ることができたので、この体験が私の一生の宝になりました。



ダイヤモンドヘッドモニュメントの前で



HULA



完成した壁画のお披露目会にて

JA施設に大壁画
 本学と包括連携協定を締結しているJA福島さくらとの共同事業の一つとして、郡山市日和田にある穀物貯蔵施設カントリーエレベーターの外壁に絵画制作をしました。学内で描いた下絵を元にして現地の外壁シヤッター(幅約6m、高さ約5mの2面)に連日の猛暑の中、2週間に渡つての作業は大変なものでしたが、10名の学生にとっては地域貢献としての意義を体験できる貴重な機会となったようです。(絵画制作責任者・地域創成学科 浅野 章)

JA施設に大壁画

地域創成学科1期生は大変である。学びを活用して、地域貢献の実践をしなくてはならない。「歴史遺産を活用した地域貢献」を旗印にした地域創成プロジェクト演習に集まった6人の学生。このうち5人は学芸員課程と考古学の授業を受講していた。考えた地域貢献策は大安場史跡公園ガイダンス施設との共催展示「発掘ガール―笹山原遺跡発掘調査速報展―と「古墳祭り」への協力である。

夏休み前に石川町野木沢小学校から野小っ子クラブ夏休み体験学習

学びを生かした地域貢献
 地域創成学科プロジェクト演習の成果

仲田佐和子 會田容弘

の話が舞い込んだ。「縄文体験学習」で「勾玉作り」「土笛作り」「縄文土器拓本のうちわ作り」を計画。子どもたちはお姉さんたちから離れようとしなかった。三つの事業計画は夏休みを挟んでほぼ並行して実施。「古墳祭り」ではサポーター役。

授業を締めくくりにあたり、教員と学生で反省会を実施した。小学生が最初怖かったという。大安場では両親よりも年上のボランティアさんのサポーター役。どちらも大変なのだ。自身の地域社会と接するということが、こういうことなのだ。

2020年度
 一般生入学選抜日程

募集定員

【大学】

家政学部人間生活学科

生活総合コース5名
 福祉コース10名

家政学部食物栄養学科

建築デザインコース5名

家政学部食物栄養学科 40名

【短期大学部】

健康栄養学科 7名

幼児教育学科 14名

地域創成学科 8名

注意事項

●出願書類の提出期日は、当日消印有効です。

●志願票は出願期間締切後に送付されます。

●可否発表は、可否通知発送日に日本郵便「レターパック」で発送いたします。

2020年度 一般生 入学選抜日程

●大学

選抜方法	出願期間	選抜日	可否通知発送日	入学手続き締切日	
一般生 大学入試センター試験 結果利用含む	I期 併願可	1月10日(金)～1月21日(火)	2月1日(出)	2月13日(木)	【第1回】2月21日(金) / 【第2回】3月13日(金)
	II期 併願可	1月31日(金)～2月11日(火)	2月21日(金)	3月4日(水)	3月13日(金)
	III期 併願可	2月19日(水)～3月7日(出)	3月13日(金)	3月19日(木)	3月25日(水)

●短期大学部

選抜方法	出願期間	選抜日	可否通知発送日	入学手続き締切日	
一般生 大学入試センター試験 結果利用含む	I期 併願可	1月10日(金)～1月21日(火)	2月1日(出)	2月13日(木)	【第1回】2月21日(金) / 【第2回】3月13日(金)
	II期 併願可	1月31日(金)～2月11日(火)	2月21日(金)	3月4日(水)	3月13日(金)
	III期 併願可	2月19日(水)～3月7日(出)	3月13日(金)	3月19日(木)	3月25日(水)



野小っ子クラブの子どもたちと夏休み体験学習

体験学習に参加した子どもたちは地域創成学科1期生とすこした3日間を「令和元年夏休みの思い出」としてきつと記憶してくれるに違いない。

郡山開成学園大運動会

大学・短大大会

一致団結
 乙女には負けられない
 戦いがある

バスケットボール

- 1位 幼児教育1D
- 2位 幼児教育2D
- 3位 幼児教育1A



ボールを追いかけて

綱引き

- 1位 幼児教育2A
- 2位 食物栄養3B
- 3位 幼児教育2C



腰を落として、それ引けー!!

ムカデ競争

- 1位 音楽科
- 2位 人間生活1年
- 3位 幼児教育2D



イチ、二、イチ、二...声を合わせて

借り人競争

- 1位 幼児教育2D
- 2位 幼児教育1C
- 3位 幼児教育1D

高校部会

Beautiful Harmony
 開成の天空に輝け
 ☆附属プリンセス



力強く選手宣誓

クラス対抗綱引き

- 1位 3年2組
- 2位 3年食物
- 3位 2年食物



力いっぱい引きました

希望を繋げ

- 1位 3年2組
- 2位 1年3組
- 3位 2年1組



竹竿を持って並んで走るのは大変

地球を動かせ!

- 1位 3年3組
- 2位 3年1組
- 3位 1年2組



クラス対抗 大玉転がし

部活動対抗リレー 学芸部

- 1位 マーチングバンド部
- 2位 合唱部
- 3位 茶道部

部活動対抗リレー 運動部

- 1位 ハンドボール部
- 2位 バレーボール部
- 3位 陸上競技部

ザ★団結

- 1位 2年3組
- 2位 3年1組
- 3位 2年2組

クラス対抗リレー決勝

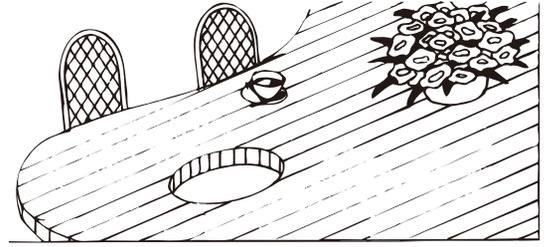
- 1位 3年3組
- 2位 3年1組
- 3位 2年2組

クラス総合順位

- 1位 3年1組
- 2位 3年2組
- 3位 3年3組

テイルーム

コミュニケーション・フォーラム



「至高の時間を学生と共に過ごす幸せ」



郡山女子大学短期大学部 幼児教育学科 教授 小林 徹

中学校の教員から郡山開成学園に転職して戸惑った。中学では生徒を3年かけて育て上げてきたが、短期大学は2年間で卒業の日を迎える。新入生たちが翌年には最上級生になつてしまふ。この1年の差が、私にはとてつもなく大きいものと思われた。学生たちを未完成の状態に社会に放つような不安を感じたのである。

短期大学部に就職して7年。送り出した卒業生の中には、たまに学校に私を訪ねてくれる者もいる。集まれば学生の頃とまったく変わらない。明らかにぎやかな様子である。しかし、話題がひとつの仕事に移ると、彼女たちは私が知らない専門職としての表情を見せる。日々迷い悩みながらも、前に進み続ける保育者であると感じてくれる。そして私は気づくのだ。彼女たちが成長する姿を私に見せてくれていることを。

全国の保育者養成校は、数では4



2018年の運動会で教え子たちと

年生大学の方が多く、学生数は短期大学の方が多らしい。短期大学に対する期待はまだ大きく、2年間で卒業は短いと思われるかもしれないが、福島県が誇るフルーツも収穫してすぐに食べ頃になるわけではない。卒業は終わりではなく成熟の始まりなのだ。その至高の時間を共に過ごす幸せを味わう今日この頃である。

「親子料理教室 ボランティアに参加して」



短大・健康栄養学科1年 品川 美咲

11月16日(土)、本学調理学実習室で健康栄養学科が開催した「さばける塾in福島」にボランティアとして参加しました。魚をさばく体験を通して魚の魅力やおいしさを知ってもらおうというプロジェクトで、参加した10組の親子に対して私たち学生は1人ずつ調理のサポートに就きました。この日は「小鯛の姿造り」と「さんまのうまみたっぷりつみれ汁」の2品を作りました。参加した子ども達の、魚の目を触ったり口の中を覗き込んだりしてお頭の付いた魚に驚いている様子

け方まで知っている子ども達もいて、幼い頃から食や料理に興味を持つてくれていることを嬉しく思いました。今回のボランティアに参加して、調理のサポートをする難しさや準備の大切さを実感し、さらに子ども達と触れ合う楽しさ、さばける塾を無事終えた達成感と充実感を味わうことができました。これから栄養士およびフードスペシャリストの資格取得を目指す私たちにとって、食の楽しさやおもてなしの心、感謝される喜びを身をもって体験できた良い機会となりました。今後もボランティアを通して授業や教科書にはない、栄養士としてのスキルを身に付けていきたいと思えました。

「未知の世界へ 踏み出す勇気」



附属高校3年 齋藤 希海

踏み入れたことのない場所へ一歩を踏み出す勇気と挑戦することの素晴らしさを教えてくれたマーチングバンド。私の前には常に姉の存在があり、姉は新しいことに挑戦するきっかけをくれました。幼少期にバレエを始めたことも、音楽に興味を持つようになったのも、道しるべとなってくれた姉の存在があったからです。姉が附属高校でマーチングバンドを始めた同じタイミングで、私は中学校でマーチングバンドに出会いました。始めるときには姉の存在がない未知の世界に対し、大きな決断が必要でした。一つ一つ探りで練習を重ね、2度の全国大会に出場することができ、マーチングバンドの楽しさを知ったことで、附属高校のマーチングバンド部に入学しました。

練習は地道なもので、約7分間の1つのショーのために何時間もの練習をします。8拍の動きを何度も繰り返して、次は16拍、24拍、曲のフレーズまでと徐々に長いフレーズで動けるようにしていきます。一日の練習が8拍の練習だけで終わってしまうことも何度もありました。そして動きだけではなく歌いながら、そして演奏しながら少しずつ完成させていくため妥協は許されず、びたりと合せて初めて次の動きに移ります。3年生となった今年、全国大会の切符を手に入れた時は、一つ一つ作り上げてきた達成感と、そこに嬉しさも加わり、自然と涙があふれ、仲間と抱き合せて喜びました。

この3年間で私は人を思いやることの大切さを学び、相手の立場に立って考え、互いに励まし合い、支え合うことがどれだけ大切かということを知りました。そして常に感謝の気持ちを持つことが大切であるということを実感しました。附属高校で過ごした3年間は姉という道しるべがなくても、未知の世界へ踏み出す勇気があれば必ず道は開けるということを教えてくれました。この経験がこれから先の新しく進む道を照らしてくれると思っています。

私の本棚

『ミトコンドリア・ミステリー』

(ブルーバックス)

郡山女子大学 食物栄養学科 准教授 影山 志保

生物には細菌、カビ、動植物があり、その中でミトコンドリアがないのが細菌である。私たちはミトコンド

研究を進めてきた中で示唆となつた学びがいくつもあります。その一つは、「世の中には絶対に安全なモノや100%安全なモノは存在しない。リスクと有用性をバランスして、安全な使い方や安全な量で使う。」という考え方です。これは、洗剤など家庭用品製造会社入社後最初の仕事になった単行本「台所用洗剤物語」を書き中で得られました。この本は、台所用洗剤「ライポンF」が1956年に日本で最初に市販された当時の食品衛生や公衆衛生面からのニーズ、さらには普及途上で発生した手荒れや人体安全性・水質汚濁問題などを歴史的読み物風に、さらに数値データも加えたスタイルとしました(B5版432頁、費用約100万円、1973年

生活診断室 シリーズ 64

研究継続中に学んだ考え方

郡山女子大学 人間生活学科 教授 武井 玲子

発行)。ここでは、広範囲の分野からなる既編集4500余編の学術文献資料から約1000編を収録引用しました。手荒れ問題の考察では、洗剤を実際に使う「生活者視点」の大切さや重要性を学び、これは二つ目の示唆となつた考え方です。三つめは、地球環境問題対応時、「目からウロコ」に感じ「ライフサイクルアセスメント」(モノやサービスのゆりかごから墓場までの環境負荷を定量的、客観的に評価する手法)の理論ですが、いざ研究の基本となるデータ収集には多くの困難がありました。

安心、安全がしばしば語られ、化学物質は毒、天然(自然)物は安全とする風潮に接するたびに、四つ目の考え方「リスクコミュニケーション」は今後の課題と考えています。

方のミトコンドリアDNAは全部消費してしまいます。動物、カビ、キノコ、粘菌はみんな真核生物で雌雄があります。植物はすべてのアミノ酸が作れますが、動物、カビ、キノコ、粘菌はアミノ酸や脂肪酸の一部が作れず植物からもらっています。ミトコンドリアが共生している真核生物の性別や栄養素がミトコンドリアと関係していることが判

リアを持つようになり、より多くのATPを作れるようになりました。ミトコンドリアはもともと別の生物でしたが、我々が持つ真核生物の細胞に取り込まれ共生するようになりました。その結果、分裂増殖ができるようになり、雌雄ができて有性生殖ができるようになったのです。しかし、通常の遺伝子とミトコンドリアDNAの両方を遺伝すると大変複雑になってしまうため、ミトコンドリアDNAは母方のみが遺伝し父

てきました。

国民体育大会

「いきいき茨城ゆめ国体」

◆スポーツクライミング

▽少年女子リード決勝

4位 滝口 萌(高1年)・林あいり

(磐城桜が丘高)

▽少年女子ボルダリング決勝

3位 滝口 萌(高1年)・林あいり

(磐城桜が丘高)

2008年の大分国体から採用され、福島県勢初めての表彰台。

県高校新人体育大会卓球競技

▽学校対抗 第2位

東北大会出場

▽女子シングルス

3位 小池 和妃

▽女子ダブルス

3位 小池 和妃・櫻村 朱里

福島県卓球協会設立90周年

▽功労賞

深谷 純子(附属高校教員)

▽表彰

郡山女子大学附属高校卓球部

天皇杯・皇后杯 全日本卓球選手権大会(ジュニアの部)

▽小池 和妃

2020年1月13日、大阪府大阪市丸善インテックアリーナ大阪で開催

第40回牛乳・乳製品利用料理コンクール

▽優良賞 荻野 桜(高2年)

県産の野菜を使った鍋レシピを競う

自慢の鍋を競う

「2019 鍋奉行も納得 福鍋満腹 絶倒計画」の第1次審査が行われた。

▽本審査進出

「鶏がらスープ香る米粉だんごの愛情鍋」今泉結愛(高1年)・今泉友美(母)

▽入賞

「福島うまいもん！月見鍋」

柳沼 萌(高3年)・柳沼とも子(母)

「あつさりあつたかとり鍋」

伊藤 園巳(高1年)・伊藤 裕実(母)

「豚バラ肉と大根のうま辛ミルフィーユ鍋」

鈴木 理緒菜(高2年)・鈴木 信子(母)

「生姜たっぷり豆乳チャンポン風満腹鍋」

渡辺 実佳(短1年)

短大・音楽科最後の定期演奏会

11月9日、短大・音楽科として最後の第50回定期演奏会が開かれた。

学科再編成で幼児教育学科と統合される。2年生9人が出演。声楽やバイオリン、ピアノなどで練習の成果を披露した。

オーケストラ演奏では

附属高校生も加わり、

会場を埋めた聴衆から

惜しみない拍手が贈られた。

最後の定期演奏会で練習の成果を発表



最後の定期演奏会で練習の成果を発表

ミートデリカコンテスト

安齋郁美さん(高2年)最優秀賞

県食肉事業協同組合連合会の主催。「街のお肉屋さんで販売する新しい惣菜」をテーマに、県内の高校生や大学生、主婦など250人が参加し

優勝した最優秀賞に輝いた安齋さん



和風あげ巻きミートローフ

た。その中から書類審査を通過した5人が調理実技に臨み、安齋さんの「和風あげ巻きミートローフ」が最優秀賞に輝き、12月14日に東京都で開催される全国大会に出場する。

▽優秀賞 田村 美羽(高1年)

明るい選挙啓発ポスターコンクール

▽最優秀賞 加澤くるみ(高2年)

▽優秀賞 佐藤 桃夏(高1年)

▽優良賞 徳田 葉月(高1年)

*3人の作品は全国大会に出品

▽入選 佐藤 希美(高2年)

石川 理菜子(高1年)



加澤くるみさんの作品

第61回全国書道展

【半紙の部】

▽大東書道大賞 佐々木かえで(高3年)



大賞を受賞した佐々木さん

2019文化・スポーツ知事感謝状 文化部門

▽岡部富士夫さん(元郡山女子大学短期大学教授)

県おかあさん合唱連盟、郡山市民オーケストラほか各地で指揮者を務めるなど、音楽振興に功績を残したものを

第14回西会津国際芸術村公募展

▽佳作 我妻 沙弥(高1年)

▽入選 久保 香子(短・地創1年)

第63回郡山市総合美術展

【洋画部門】

▽大賞 永山美智佳(短・地創2年)

▽美術賞 伊藤 仮名(短・地創1年)

▽青少年賞 長沢ひなた(短・地創2年)

久保 香子(短・地創1年)

▽入選 網干夢加・國安 碧・高

椋舞花・森 千咲・柳沼詩織・吉

川 鮎耶香(短・地創2年)

第4回県産のこ料理コンクール

▽優秀賞 矢部 若菜(高3年)

▽特別賞 武田 萌英(高1年)

▽奨励賞 佐々木莉穂(高1年)

上野 桃香(短1年)

今井美姫(大1年)

九州北部豪雨義援金を届ける

大学学友会・短大学友会附属高校生徒会が合わせて55,149円を

福島民報社郡山本社へ届けた。学内に募金箱を設置し、学生や生徒、教職員から募った。

「被災した人たちに役立ててください」と、大学学友会長の佐藤朱莉さん(3年)、

短大友会長 鈴木 愛美さん(2年)、

附属高校 生徒会長 沼田清香さん(3年)が託し



右から佐藤朱莉さん、鈴木愛美さん、沼田清香さん

赤い羽根共同募金

大学・短大の学友会と附属高校生徒会が今年も学内で募金活動を実施。152,210円の浄財が集まった。

11月27日、大学学友会長の三瓶夏花さん、短大友会文化部長の千葉彩さん、附属高校生徒会副会長の

小林玲菜さんの3人が郡山社会福祉協議会に届けた。



左から三瓶夏花さん、千葉彩さん、小林玲菜さん

全国大学ビブリオバトル

横山さんが全国大会へ

全国大学ビブリオバトル2019郡山地区予選会が11月5日、本学図書

館で開かれ、短大・専攻科の横山瑞季さんの「不道德教育講座」(三島由

紀夫)がチャンプ本に選ばれた。郡山予選会には6人が参加。ビブリオバトルは5分の持ち時間で好きな本を紹介、質疑応答の後「どの本が読みたくなかったか」を参加者が投票。最多票を集めた本を「チャンプ本」とする。

横山さんは11月16日(土)、仙台市の

せんだい3・11メモリアル交流館で開

かれた東北大会に出場し、12月22日、

東京のよみうり大手町ホールでの全

国大会出場権を獲得した。

令和元年度 郡山市教育委員会表彰(教育功労者)

▽影山 彌(郡山女子大学副学長)

多年にわたり本学において教鞭を執り、家政哲学の学問領域の構築や

人間生活の向上に寄与する人材の養成に努めるとともに、市民講座等の

開催により、広く市民教育の進展にも尽力するなど、学校教育の振興発展に尽くした功績。

人事

【採用(11月1日付)】

浅倉 哲也 職員

法政大学法学部卒 前福島民報社郡山本社統括本部長・事業部長・販売部長・県中県南創生担当

所属 入学事務・広報部次長

【異動】

草野 優芽

所属 経理部(入学事務・広報部)アドミッション・オフィサー補を解く

本多 泰治

所属 アドミッション・オフィサー補(入学事務・広報部主任とアドミッション・オフィサー補を兼ねる)

【依願退職】(10月31日付)

穴澤 睦美 所属 経理部

先輩を訪ねて



石原 和泉 さん(旧姓・片吉) 平成17年 短大保育科卒業

な、と思っただけです。すると、タイムシンク良く大槻中央幼稚園の求人があり、願いが叶いました。

現在は年中さんのクラスを担当。

「こちらが、こうしようと考えて臨んだことに子どもたちが応えてくれるので、接していて楽しいです」と、日々やりがいを感じているという石原さん。

「短大の卒業研究発表での人形劇では、人形作りから、友だちと協力してできたことが良い思い出です」と、学生時代を振り返りながら、在学生の皆さんに「いろんな方の話に素直に耳を傾けて、良いと思ったことを吸収していただく」と暖かいメッセージをいただきました。

第207回芸術鑑賞講座

「江戸の華 浮世絵、その時代」
肉筆画浮世絵展が10月8日(火)〜19日(土)行われた。肉筆浮世絵は江戸時代に成立したジャンルの一つで、通常、錦絵と呼ばれる浮世絵版画と区別して、浮世絵師が自ら筆で直接絵絹や紙に描いた浮世絵を指すもの。会場には鳥文斎栄之の「立姿美人図」や喜多川歌麿「美人画」、歌川広重「雪中大夫歩行図」など肉筆画50点が展示された。来場者は浮世絵師の



貴重な肉筆浮世絵を展示

髪型、服装などの絵師による作風の違いを感じながら鑑賞していた。

稲刈りを体験

短期大学部健康栄養学科、附属高校、附属幼稚園児ら320人が10月2日、稲刈りを行った。JA福島さくらとの共同事業。鎌を手に、三穂田町の約20アールの田んぼに入り、一束一束丁寧に刈り、刈り取った稲を棒に掛けて干した。参加者は、春に植えた稲の成長を実感し、日本の主食のコメ作りを体験した。



幼稚園児も頑張りました

短大・浅野教授の絵画展

短大・地域創成学科浅野章教授の絵画展が、会津若松市八角町のアートギャラリー三遊で、11月9日(土)から24日(日)まで開かれた。会場には山や母子像、ダンスに興じる人々などを描いた作品25点が展示され、多く



作品の前に立つ浅野教授

の市民が見入っていた。

コイの折り紙ギネスに認定

郡山女子大学・短期大学の学生が作ったコイの折り紙6270枚が、魚の折り紙最多展示数としてギネス記録に認定された。認定に協力した日本折り紙協会の望月泉さんが、折り紙の数が6270枚だったと報告した。

中心となって活動したメーブルレディーズ部長で食物栄養学科2年吉田真奈美さんに、水野学生生活部長から認定証が手渡された。

吉田さんは「郡山のコイをアピールできて嬉しい」と喜びを語った。これまでの記録は広島県因島の風景を描いたモザイクアートの折り紙で5067枚だった。



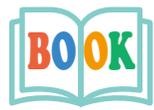
皆でギネス記録認定を喜びました

3Rを考えるステージ

11月17日(日)にニコニコ子ども館まつりが行われ、幼児教育学科1・2年生68人が参加しました。「3Rを考えるステージ」として歌や体操、劇を披露し、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の大切さを伝えました。オープニングセレモニーでは、2年生限定のユニットが郡山市で制作されたクリーンキャンペーンソング「GO! GO! 環太郎」を披露し、会場を盛り上げました。関係者の皆様、ありがとうございました。



「GO GO! 環太郎」を披露



第12回

郡山女子大学 大学図書館

大学図書館では、去る7月9日、16日の両日に書店の現場で学生が本を選ぶ「選書ツアー」を実施しました。今回は学生が選んだ本を紹介します。



異邦の騎士
島田荘司著、講談社
請求記号 913.6||Si



蕪村: コレクション 日本歌人選
損斐高著/文他, 笠間書院
請求記号 911||Yo



なまえないねこ
竹下文子文, 町田尚子絵, 小峰書店
請求記号 726.6||Ta



傑作はまだ
瀬尾まいこ著, ソニーミュージックエンタテインメント
請求記号 913.6||Se

木もれ陽

私が住む家の近くには南川渓谷があり、川のせせらぎと共に、四季に応じて様々な表情を見せてくれます。秋には木々の紅葉や足下に落ちているドングリなど、秋の深まりを強く感じさせてくれます。

そんな素晴らしい環境の中をジョギングしていると、定期的に川の清掃をして下さるボランティアの方々、時折すれ違います。私はその時に一言一言、感謝の気持ちを伝えることしか出来ないが、その細やかな配慮に頭が下がるばかりです。

このように私たちが感じている美しさや便利さの陰には、それを支える目に見えない多くの人々の力があります。

ます。手元の指先一つで生活のほとんどが済む時代。お金すらキャッシュレスという名の下で、実態が無い数字でしかなくなろうとしています。しかし、そういう時代だからこそ、その便利さを支えている人々の働きや労働という意味を、感謝の気持ちと共に感じないと、人間関係の根幹が歪んでくるように感じています。

極端なお客様は神さまで、精神は日本だけだと言われています。サービスを当たり前と考えず、人と人が感謝しあえる関係性が大切にされれば、もっと居心地のいい社会が実現するのではないかと感じる今日この頃です。

(康)

第64回卒園記念屏風 附属幼稚園

まつ組 「きせつのくろーばー」
みんながすごしたようちえんは、たくさんのはながさいて、みんなはおおきくみになったね。なつ、ぶーには、はったり、みんなでもしをさかしたりしたね。あき、いねかりやさつまいもをほりに、みんなでおいでかけたね。ふゆ、くりすますかい、さんたさんと、たくさんおはなしてきたね。ようちえんのおもいでは、みんなのすてきな、たからもの、みんなが、いつもえがおで、たのしくすごしたのは、たいせつなおともだちに、であえたから、またあうそのひまで、えがおたやさず、げんきに、まいにちを、すごしてくださいね。

やなぎ組 「みんなの未来」
「みらいには、どんなものがあるかな?」
おかしなビルに、ぎんががつどう、ほしのりもの
「みらいでは、けんちくかになってるんだ」
「わたしは、スーパーアイドル」
「ロケットにのって、そらをとんでるよ」
「みらいのふぞくようちえん、みんなであそんでいるよ」
みらいのみんなのすがた、かんがえるのがたのしいね。
これからどんなみらいがまっているのかな?
ときどき、わくわくするね
みんなの未来が、ひとりひとり、かがやきますように!

本学所蔵 紙上美術展 90